

中小企業と技術の
出会いの場

TIRI クロスミーティング 2018 概要集

日時 7/12^水 10:00 ▶ 17:00
7/13^金 10:00 ▶ 17:00

会場 地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター
本部(江東区青海2-4-10)

中小企業の大きな夢を実現するために Innovation

都産技研は、「環境・エネルギー」、「生活技術・ヘルスケア」、「機能性材料」、「安全・安心」を重点研究分野として、中小企業にご活用いただける技術シーズの創出に努めています。「3Dものづくりセクター」、「先端材料開発セクター」、「実証試験セクター」、「複合素材開発セクター」を中心とした開発型中小企業の支援や、中小企業の海外展開支援、ロボット産業の事業化支援を推進するほか、中小企業のIoT化支援、航空機産業や医療機器産業などの東京の成長産業支援、障害者スポーツの研究開発促進など、新たな取り組みを開始しています。「中小企業こそがイノベーションを起こす」と確信し、都産技研はその大きな夢を実現するために、より一層支援を強化してまいります。



平成30年度の主な取り組み

ロボット産業活性化事業

平成30年4月で4年目に入ったロボット産業活性化事業は、サービスロボットの事業化を目指しています。都産技研が研究開発を進める移動機構や音声処理技術が使われたロボットが、商業施設でお客さまの案内や在庫管理を行ったり、美術館などで展示品の説明を行うなど、実証実験が進められています。平成30年度は、こうした実証実験をフォローするしくみをつくり、事業化に向けてさらなる支援を展開していく計画です。

TIRIクロスミーティング関連プログラム

7月12日(木)「IoT」

13:00～13:40 特別発表

「0円でつながるクラウド見積りネットワーク」

月井精密株式会社 代表取締役 名取 磨一氏

13:40～14:20 特別発表

「ウェアラブルIoTによる高齢者の自立支援サービスの現状と今後」

株式会社Moff 代表取締役 高萩 昭範氏

14:30～15:30 パネルディスカッション

「中小・ベンチャー企業目線のIoT導入～データ取得と可視化で他社と差をつける～」

モデレーター 名古屋商科大学大学院マネジメント研究科ビジネススクール教授 澤谷 由里子氏

7月13日(金)「ロボット」

口頭発表

東京ロボット産業支援プラザ見学会

中小企業のIoT化支援事業

IoTによる新しいビジネスモデルの創出を目指す「東京都IoT研究会」が発足し、160社・180名以上の方々にご参加いただいています。さらに、中小企業のIoT化を促進するため、IoTシステムの全体像を把握できる展示とテスト環境を提供するテストベッドの整備を進めるほか、人材育成プログラムの提供もスタートする予定です。また、平成30年度からは、新たにAIを加え、中小企業と共同でIoT関連製品の研究開発に取り組みます。

航空機産業参入支援事業

ASTMなどの国際規格に準拠した試験を行うことができる航空機産業支援室を平成29年度に開設しました。航空機産業への参入を目指す中小企業の「試作開発部門」として活用できたいと考えています。

障害者スポーツ研究開発推進事業

障害者スポーツの競技力向上や普及促進を図るため、都産技研の職員が実施する基礎研究と、中小企業との公募型共同研究事業が進行中です。公募型共同研究では、バドミントン用の車いすと、世界最速を目指すスポーツ用義足の開発を進めています。これらの成長産業支援を中心に、都産技研は引き続き東京のものづくりをサポートし続けます。

自前主義からの脱却で新たなイノベーションを！

都産技研では、平成30年度は、周囲の職員が取り組む内容や担当以外の事業分野にも興味を持ち、自分の幅を広げる「Curiosity」、ためらわずに挑戦する「Challenge」、技術革新・イノベーションを進める「Change」の3つのCをスローガンとして、職員への浸透を図っています。平成29年度に掲げた、活発に情報交換・情報共有を行う「Communication」、協力・連携の「Collaboration」、皆が一緒になって跳躍する「Consilience」の3つを加えるとCは6つに。Cは元素記号で炭素を表し、炭素が6つ結合すると、結合電子が共鳴するベンゼン環になります。中小企業支援は、単独で行うものではなく、チームワークが不可欠。6つのCを「共鳴」の象徴として、「協創」の原動力にしていきます。

この6つの“C”は都産技研だけでなく、中小企業の方々にもあてはまることだと思います。Communication(情報交換)やCollaboration(連携・協力)により、外部から必要なノウハウを取り入れ、新規事業にChallenge(挑戦)することで、新たなイノベーションを起こし、Change(変化・革新)する。言い換えれば、イノベーションを生み出すためには、すべてを自力・自前で行う必要はないということです。

自前主義から脱却し、自社にしかできないコア技術を磨きつつ、活用できるノウハウは、外部から取り入れて新たな技術や製品を創出する。そのために都産技研は、技術相談や依頼試験、機器利用、研究開発など技術面でのサポートを惜しみません。この技術との出会いの場を提供する「TIRI クロスミーティング」を通じ、都産技研を上手に活用して、イノベーションを起こしていただきたいと思います。



理事長 奥村次徳

都産技研の主な支援メニュー

都産技研では、数多くの中小企業の製品開発や課題解決に依頼試験、機器利用、共同研究、オーダーメイド開発支援などをご活用いただいています。

研究開発

技術開発や製品化に向けた研究を行っています。企業や業界団体、大学などと協力し、共同研究も行っています。



技術相談

情報・電子、材料・化学、製造技術、環境・エネルギー、デザイン設計、製品化支援技術など幅広い分野の技術相談をお受けします(無料)。



依頼試験

お客様のニーズにお応えして、試験、測定、分析等を実施します。結果に基づいて技術的なアドバイスも行っています。



機器利用

さまざまな試験機器を利用して、お客様自身で製品や材料等の試作、測定、分析を行うことができます。



技術セミナー・講習会

現場で活躍する産業人材育成のために、技術セミナーや実習を組み合わせた講習会を開催します。

オーダーメイド事業

お客様の個別のニーズにお応えし、試験やセミナー、開発支援を行います。

産業交流

産学公金連携支援、異業種交流支援、技術研究会などを行っています。

情報発信

展示会出展、技術情報誌などの刊行物発行、見学などで事業や成果を発信しています。

※本概要集から転載する場合には、前もって都産技研に連絡の上、了承を得てください。
本概要集の内容は、ホームページにてPDFファイルとして提供しております。

ホームページ： <http://www.iri-tokyo.jp/>

登録番号 都産技 30-5

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
T I R I クロスミーティング 2018 概要集
平成 30 年 7 月 12 日発行

発 行 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
経営企画室
〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-10
TEL 03-5530-2521
FAX 03-5530-2536
URL <http://www.iri-tokyo.jp>





古紙配合率70%
白色度70%の再生紙を使用しています

石油系溶剤を含まないインキを使用しています